

あなたの 牧場

平成 24 年次生乳生産費の 見込みはどのような状況でしょうか!

一年間の酪農経営を総括され、今後の目標や対策など、ご家族での語らいをされますことに期待します。

最近、企業はもとより広酪でもPDC Aサイクル(P「計画」、D「実行」、C「チェック」、A「アクション」)を取り入れた対応を進めています。皆さんの酪農経営においてもC(チェック)から始めるPDC Aサイクルで、健全な経営が維持・向上されることを願ってやみません。

さて、平成二十四年次の酪農経営に及ぶ月次決算の進み具合はどのような状況でしょうか？

平成二十四年もあと数日となりました。毎年のことですが、年が明けますと暦年決算、税申告で気ぜわしいとの声が聞かれます。



本誌巻頭記事では、九月から「生乳生産基盤の現状に着目」とした特集を連載してきました。

生乳生産基盤の低迷、飼料費など生乳生産費用の上昇は、酪農家自らの経営収支や資金繰りに影響することは、身をもって感じておられるものと思います。

先月号で紹介した特集から、一歩掘り下げた市町別の生乳生産基盤の状況、新たに生乳生産費に触れてみました。

1 生乳生産基盤の状況に着目

1 現状は？

以下の表は、平成 24 年 10 月と平成 23 年 10 月の単月受託乳量等実績(廃業組合員は除く)から、生乳生産基盤に着目したものです。

①搾乳頭数・生乳受託量(単位：乳量kg)

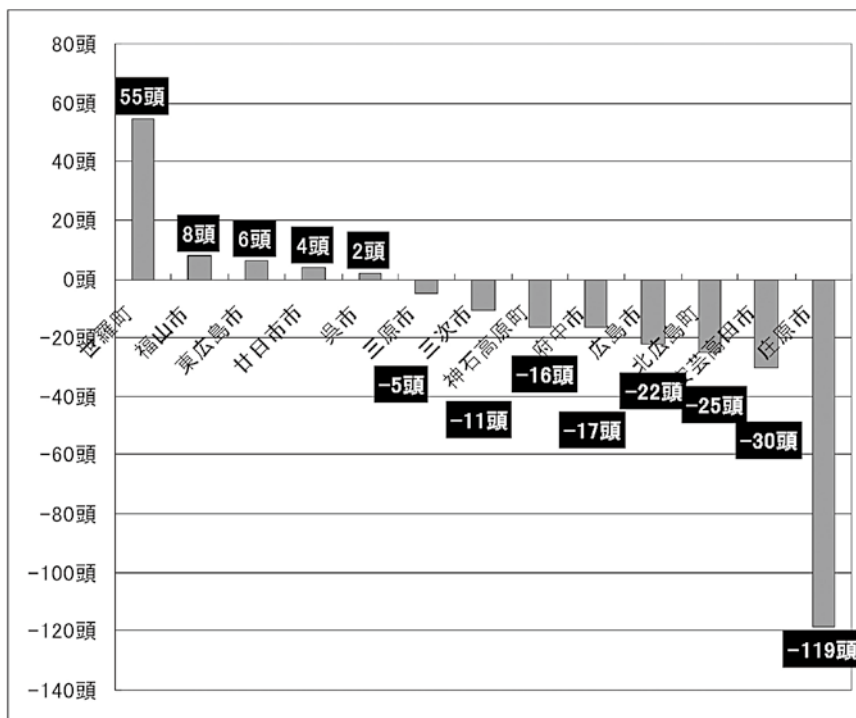
市 町	生乳出荷戸数①	増加した戸数②	変動なし③	減少した戸数④	生乳出荷戸数に占める減少した戸数の率④/①	H24 年 10 月 受託乳量 ⑤	H23 年 10 月 受託乳量 ⑥	同期 対比 ⑤/⑥	差引 乳量 ⑤-⑥	搾乳 頭数の 増減⑦
世 羅 町	9 戸	2 戸	3 戸	4 戸	44.4%	526,365.9	486,418.9	108.2%	39,947.0	55 頭 ↑
福 山 市	6 戸	3 戸	0 戸	3 戸	50.0%	130,467.4	124,605.3	104.7%	5,862.1	8 頭 ↑
東 広 島 市	12 戸	4 戸	3 戸	5 戸	41.7%	396,564.2	391,979.0	101.2%	4,585.2	6 頭 ↑
廿 日 市 市	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0.0%	34,682.6	31,872.7	108.8%	2,809.9	4 頭 ↑
呉 市 市	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0.0%	56,274.5	54,775.2	102.7%	1,499.3	2 頭 ↑
三 原 市 市	7 戸	3 戸	1 戸	3 戸	42.9%	106,809.2	110,600.6	96.6%	-3,791.4	-5 頭 ↓
三 次 市 市	25 戸	12 戸	2 戸	11 戸	44.0%	857,473.8	865,509.1	99.1%	-8,035.3	-11 頭 ↓
神石高原町	5 戸	1 戸	1 戸	3 戸	60.0%	86,939.6	99,116.7	87.7%	-12,177.1	-16 頭 ↓
府 中 市 市	12 戸	7 戸	0 戸	5 戸	41.7%	248,856.1	261,260.9	95.3%	-12,404.8	-17 頭 ↓
広 島 市 市	9 戸	2 戸	1 戸	6 戸	66.7%	217,246.3	233,611.3	93.0%	-16,365.0	-22 頭 ↓
北 広 島 町	26 戸	10 戸	1 戸	15 戸	57.7%	498,654.3	517,499.9	96.4%	-18,845.6	-25 頭 ↓
安芸高田市	17 戸	4 戸	2 戸	11 戸	64.7%	377,830.4	400,404.2	94.4%	-22,573.8	-30 頭 ↓
庄 原 市 市	30 戸	7 戸	3 戸	20 戸	66.7%	869,621.2	957,807.3	90.8%	-88,186.1	-119 頭 ↓
合 計	161 戸	57 戸	18 戸	86 戸	53.4%	4,407,785.5	4,535,461.1	97.2%	-127,675.6	-172 頭 ↓

生乳生産量が伸長した市町は、世羅町の 108.2%、最も低いのは、神石高原町の 87.7%となっています。

搾乳頭数が最も減少した市は、庄原市の 119 頭、最も増加した町は、世羅町 55 頭となっています。搾乳頭数が減少した市町の合計頭数は、245 頭にのぼり、生乳生産量の減少につながっていると考えます。

② 市町別にみる搾乳頭数の状況

(H23年10月と24年10月の比較値)



二 将来を見据えた生乳生産基盤対策を如何に？

広略は、平成二十四年九月から3M事業により二百頭の乳用初妊牛取得に着手しましたが、単純にこの対応では、生乳生産量の維持にしか止まりません。

後継牛対策も低く、初生子牛の誕生に占める雌子牛の出生率も、隣県の鳥取県が三十二%に対して二十二%と十%も低い状況にあります。組合員の皆さんからは、「広略は、乳用牛導入と同等の後継牛確保対策への助成金支援を強化すべき」との声も届きますが、財源なり手法なり課題があります。一歩、踏み込んだ組合員の皆さんとの意見交換を希望しています。

【生乳生産費】

(指数は平成20年を100として計算)

区分・項目		単位	平成 23 年度		平成 22 年度		平成 21 年度		平成 20 年度
			金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額
搾乳牛 1 頭当り	物財費(①～⑥)	円	600,123	100.3	584,675	97.7	581,399	97.2	598,188
	①飼料費	〃	343,117	96.8	329,594	93.0	333,383	94.0	354,535
	②乳牛償却費	〃	108,848	111.1	107,764	110.0	104,339	106.5	97,964
	③農機費	〃	27,864	96.9	28,103	97.8	27,335	95.1	28,743
	④医薬費	〃	24,127	104.2	24,842	107.3	23,979	103.6	23,153
	⑤水光費	〃	22,706	101.0	21,679	96.4	20,530	91.3	22,489
	⑥その他	〃	73,461	103.0	72,693	101.9	71,833	100.7	71,304
	労働費	〃	159,767	95.6	161,632	96.7	163,635	97.9	167,196
	合 計	〃	759,890	99.3	746,307	97.5	745,034	97.3	765,384
生乳 100kg 当り		〃	8,080	98.6	7,959	97.2	7,912	96.6	8,191
1 頭当り 投下労働時間		時	105.24	95.7	107.09	97.4	108.18	98.4	109.92
搾乳牛飼養頭数		頭	49.2	108.6	46.9	103.5	46.4	102.4	45.3
1 頭当り 通年実搾乳量		kg	8,047	99.7	8,066	99.9	8,155	101.0	8,075

資料:農林水産省「畜産物生産費統計」より

② 生乳生産費に着目

広略が平成二十三年度を初年度とする第六次中期三か年計画には、「育つ育む酪農経営」に関する取り組みとして、年間の生乳乳量別所得指標を①自給粗飼料依存型、②購入粗飼料依存型

に区分し作成することを予定していますが、このためには、勘定科目の統一的な整理に基づく決算書のほか基礎データの提供など、組合員各位の協力が必要となります。

全酪連が開発し、広略が利用を推奨するDMSシステムに参加頂きます

【物財費に占める飼料比に注目】

(単位：円)

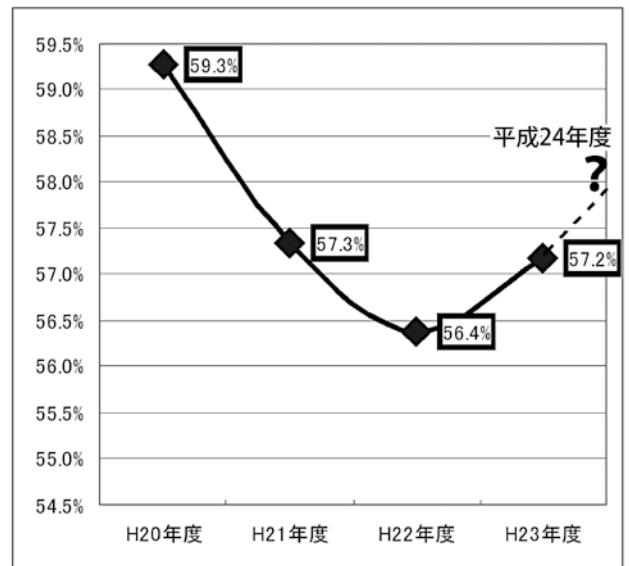
年度・項目	H20年度	物材費に占める構成比	H21年度	物材費に占める構成比	H22年度	物材費に占める構成比	H23年度	物材費に占める構成比
物財費(①～⑥)	598,188	100.0%	581,399	100.0%	584,675	100.0%	600,123	100.0%
①飼料費	354,535	59.3%	333,383	57.3%	329,594	56.4%	343,117	57.2%
②乳牛償却費	97,964	16.4%	104,339	17.9%	107,764	18.4%	108,848	18.1%
③農機費	28,743	4.8%	27,335	4.7%	28,103	4.8%	27,864	4.6%
④医薬費	23,153	3.9%	23,979	4.1%	24,842	4.2%	24,127	4.0%
⑤水光費	22,489	3.8%	20,530	3.5%	21,679	3.7%	22,706	3.8%
⑥その他	71,304	11.9%	71,833	12.4%	72,693	12.4%	73,461	12.2%

と、実態把握の迅速化とともに指標の作成に有効と考えますが、ポイントとは、このシステムの利用参加者が増えることにあります。現在、県内の生乳出荷組合員の十

組合員の皆さんの経営では、どのような状況になっているのでしょうか？
特に、物財費(右表・右グラフ)に占める飼料費の構成率の変化は、どのような状況になっていますか？

に利用頂いておりますが、更に増えることを期待しています。
さて、前ページの表は、農林水産省が発表した生乳生産費のデータです。
平成二十年度以降、四年間の搾乳牛一頭当たりの生産費において、平成二十三年度は二十年度と比較して、二・五％減少となっています。

【物財費に占める飼料費の率】



昨今、異常気象の影響等からアメリカシカゴの穀物相場は上昇し、かつ、粗飼料も生産地の干ばつ、豪雨等の影響で高値で推移しています。

上のグラフは、物財費に占める飼料費の率に関して、平成20年度以降4年間を表しています。

平成24年度は、平成20年度に占める勢いにあります。

■まとめ

平成二十年度の酪農経営窮状の経験以後、少しでも海外に依存しない自給飼料確保を図るよう経営方針を転換される経営体もあります。集落営農法人と連携したWCSの利用、特に「たちすずか」の価値が高まっています。

生産コスト減少、生乳生産基盤の維持等に向って、広酪等、更に組織を挙げた対策が必要に感じます。これらに関して、組合員皆様からのご意見をお待ちしています。

○今月の表紙

本誌の発刊日は、毎月二十五日。

十二月二十五日はクリスマス。

今回は、水槽の中で魚に餌を与えるサンタクロースにカメラを向け撮影した。

不景気な日が続く昨今ではあるが、クリスマスの日を前にしての商戦は華やかさがあつた。

動物園や水族館も、子供や大人達を笑顔で迎え、楽しんでもらおうと、クリスマス企画を用意し、お客様の来場を待っている。

世界遺産に登録される厳島神社(広島県廿日市市)のすぐ近くの宮島水族館では、潜水服ならぬサンタクロースの衣装に身をまとったスタッフが、直接、水槽に潜って餌を与える企画が行われていた。

この様子を目にした子供達は興味津々で、歓声とともに可愛い眼を白黒させていた。

さて、クリスマスは今や子供達に夢を与えるイベントとして定着している感じさえする。

特に物心のついた幼い子供達、クリスマス日のプレゼントに期待し胸を躍らせたことでしょう。

欲しい物をサンタクロースにお願いするため、靴下にお手紙を忍ばせ眠りに入る。寝付きが悪くそわそわしながら・・・。

子供達に夢を与えるのが大人の役割と云うことを聞いたことがある。

今の時代、未来を担う子供達に何をつなげて行けば良いのか。改めて、クリスマスの日を前に考えるキッカケとなった……。

▼新年度が近づいてきた。来年も「エイ!! ヤー!!」の気持ちで頑張りたい。

畜魂祭

「尊い救い」御霊への 感謝と供養を捧げる



広酪は、本所事務所前の「ホルスタインの碑」〔昭和六十二年、故・山本勉氏(県酪連会長)の発起により建立〕の前面にて、組合発足後初となる畜魂祭の儀を執り行った。

儀式は、出雲大社備後分院の宮司様によって、

- ① 修祓しゆはつ、② 降神かうじんの儀、③ 献饌けんぜん、
のりとしやう④ 祝詞奏上、⑤ 玉串拝礼、⑥ 撤饌てつせん、

⑦ 昇神しょうじんの儀の七つの儀をもつて執り行われ、清めの儀礼「修祓しゆはつ」、罪や穢れを祓はらう「祓詞はらいことば」の奏上、「祝詞のりことば」が読み上げられ、山本武組組合長は玉串を捧げ、「二礼四拍一礼」を役職員で拝礼し、御霊への感謝と供養を捧げた。

畜魂祭の儀を終え、山本武組組合長は「自然の摂理とはいえ、家畜であるあなた達の尊い救いにより、人間社会が成り立っていることを忘れません。経済的理由から酪農経営に重宝な力を与えて戴いていることに深甚なる敬意と感謝の念を捧げたい」と述べ、牛達の御霊に感謝の言葉を捧げた。

寒い中ではあったが、役職員がそれぞれ酪農の関わる恩恵を受けていることから、牛達の御霊に感謝の意を捧げ、これからの酪農発展を祈願し、厳粛な内に畜魂祭の儀を終えた。

